



本社外観

○本社所在地：東京都中央区日本橋蛸殻町1-37-8

○事業概要：製氷及び氷卸売業

○常時使用する従業員：48名

(グループ全体・2025年2月期)

○現在の売上高：90億円

(グループ全体・2025年2月期)

○法人番号：3010001128349

○Web：https://www.tetra-g.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
手島 康男

「暑い世界を癒したい」

お客様のニーズに合わせて、様々な用途、場所、時間で使用され、必需品として購入する消費行動の定着に合わせた最適な氷を提供したい。
大手小売事業者のプライベートブランドから、飲食店利用の業務用氷まで、お客様の「生活・食シーン」に役立つ氷で社会に貢献する。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2028年のグループ3社合算での売上高100億円達成に向け、5年スパンの平均で年率5%程度の売上成長を目指す。

課題

- ・ 自社供給量を増やすこと。
需要増に対して、全国的な供給量が不足している。
- ・ 製氷工場として、大手顧客要求の食品安全基準を満たすこと。
地場の中小製氷工場では小売業のPB製造基準以下が多い。
- ・ 物流費高騰の為、消費地の近くで製造できること。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・ 大手小売業のPB商品の受託増。
全国規模のチェーン店に対応できる氷製造業者が少なくお客様の要請に応えるため、自社供給量が増えれば販売量が増やせる。
- ・ 海外からの引き合いにも対応する。

実施体制

- ・ 関西圏での製造増が急務の為、新関西工場の新設。
- ・ 東北エリアでの製造拠点を確保し供給。
- ・ 海外展開
商品の輸出を増やしつつ、製造から流通までのビジネスモデル自体の海外展開も検討。

売上高100億円実現の具体的施策

＜氷は「家で作る」から「買う」時代に＞

家で飲むお酒はビールからハイボールに、コンビニで買うコーヒーは缶コーヒーから氷入りアイスコーヒーに変化しており、一般消費者が氷を購入する機会は増えている。

・イオングループやセブン＆アイホールディングス等大手小売事業者のPB製品増産のみならず、食品系スーパーを中心とした取引先からの増産要請が継続的にあり、設備投資による生産体制の増強を行い、品質面を含めた安定供給のエリアを拡大していくことで、売上成長を図る。

・東日本においては、東京都大田区及び埼玉県蕨市に製造拠点があり、既に新規製氷ラインを導入する等の設備投資を行うことで、既存取引先である大手小売業者からの要望にも十分対応できる体制を整えてきた。また熊本にも2024年末工場を新増設・稼働することで、九州エリアの増産・供給体制も確立するとともに輸出も行い、海外で販売を開始している。

次は大消費地の一つである大阪府において工場を新設することで、中京、近畿、中四国への供給体制強化。西日本での安定供給を実現すべく、継続的に設備投資を検討・実行していく。

・(株)日本橋冷凍手島商店、(株)アクアピア、(株)ピュアフードサービスの単純合算で、2028年に売上高100億円を達成すべく、5年スパンの平均で年率5%程度の売上成長を目指す。

